

2024（令和6）年度 第51回道南バドミントン大会開催要項

- 1 主催 函館地区バドミントン協会
- 2 期 日 令和6年10月6日(日)
- 3 会 場 北斗市スポーツセンター（北斗市本郷2丁目5-1 TEL0138-77-7200）
- 4 競技種目 一般 部門 男女複 各1部・2部・3部
年代別部門 セミベテラン 男女 複
ベテラン 複 ※男女区分なし
- 5 大会日程 8：45 役員入場
9：00 選手入場・会場設営
公式練習・代表者打ち合わせ
※開会式・閉会式(表彰)は行わない。
- 6 参加資格 ①渡島・檜山・函館地区在住の一般社会人（大学生・高専生を含む）で、本年度、函館地区バドミントン協会への加盟登録を完了した者。（当日の加盟登録も可とする）
②高専生は、4年生以上の者。
③エントリー法については、2ページ「付則」を参照のこと。
- 7 競技規則 本年度（公財）日本バドミントン協会の「競技規則」・「大会運営規程」・「公認審判規程」に準ずる。
- 8 使用器具 ①本年度（公財）日本バドミントン協会検定合格器具を使用する。
②使用球は、（公財）日本バドミントン協会検定球とする。（地区協会で用意する）
③服装については（公財）日本バドミントン協会検定合格品を着用のこと。
- 9 競技方法 ①各種目とも原則としてリーグ戦により予選を行う。但し、参加数が多数の場合や会場の状況などによりトーナメント戦で行う場合もある。試合形式については、地区協会：競技委員会で検討し決定する。
②リーグ戦による予選及び順位決定戦について
(1)予選をリーグ戦で行う。
(2)各予選リーグの上位のペア同士により1位～3位までの順位決定戦を行う。
(3)その他の順位決定戦については組合せ会議において競技委員会で検討する。
(4)順位決定戦の組合せはフリー抽選による。
①トーナメント戦による予選及び順位決定戦について
(1)予選をトーナメント戦で行う。
(2)初回戦の敗退者同士による交流戦を行う。
(3)順位決定戦については原則として1位～3位までの決定戦を行う。
(4)その他の順位決定戦については組合せ会議において競技委員会で検討する。
(5)順位決定戦の組合せはフリー抽選による。
- 10 競技に関する諸注意
①該当種目内の出場申込数が「1」のみで試合の成立が見込めない場合は、当該選手に確認の上、以下②の各項目に準ずる。
②組合せ会議後のエントリー選手の変更については、監督会議の場で協議する。
(ア)以下の場合は組合せ会議事に競技委員会で検討する。
(1)出場を取り消しにする。
(2)希望により、年少者の種目に編入することを可とする。
(イ)(1)リーグ戦の場合はオープン参加とし、勝敗数はリーグ戦内による順位決定のための算定材料にはしない。
(2)トーナメント戦の場合は次回戦への勝ち上がりはできない。
- 11 参加料 一般 部門 1部 一人1種目 1,800円
2・3部 一人1種目 1,500円
年代別部門 一人1種目 1,500円
①組合せ会議後から大会当日までに棄権が生じた場合の参加料については返戻しない。
②大会当日の選手変更(オープン参加)の場合の参加料については返戻しない。
③参加料は大会当日に、会場にて受け付ける。

- 12 申込方法 ①所定の用紙(様式1:参加申込一覧)に、競技種目別に男子・女子ともに記入すること。個票は不要である。
 ②不備のものや電話による申し込みは受け付けない。(FAXは可)
 ③「様式1:参加申込一覧」を郵送またはFAXすること。メールによる申し込みは下記アドレスまで送付すること。
 ④申込締切日 令和6年9月25日(水) 必着
 ⑤申込先 040-0012 函館市時任町11番3号
 北海道函館中部高等学校内 尾村晃治(宛)
 TEL0138-52-0303 FAX0138-52-0305
 メールアドレス kozy-omura@hokkaido-c.ed.jp
- 13 組合せ ①令和6年9月29日(日) 北海道函館中部高校 2F相談室2 10:00
 (都合により、組合せ会場・時間が変更になる場合があります)
 ②函館地区バドミントン協会がシード法で行う。(公開しています)
- 14 その他 ①競技開始前に代表者会議を行う。各チームの代表者1名は参集すること。
 ②「大会運営規程」の改定[第4章 第24条](2019年4月19日より)
 ウェア(上衣)の背面に「所属チーム」名を表示すること。
 (高さ6cm~10cm、横30cm以内)
- 15 審判 ①リーグ戦及びトーナメント戦とも試合の空いている選手を中心に相互審判で主審・線審を行う。
 ②敗者・勝者に関係なく審判を行う。(放送で指名する場合があります)
 ③競技進行状況により、審判協力をお願いする。

付則

1 エントリー方法

- ①一人当たりの出場枠は1種目とする。
 ②ダブルス種目において年齢区分の異なる選手同士がパートナーを組んで出場する場合には、「年少者」の種目に出場するものとする。
 ③「年長者」が「年少者」の種目に出場することは可とする。「年少者」が「年長者」の種目に出場することは不可とする。

2 年齢区分について

- ①1部 (ア)年齢による制限なし。(但し、満30歳未満の者で、高校・高専での大会への出場経験者で、個人戦の種目で地区ベスト8となった者は1部で出場すること)
 (イ)前年度、1部の種目での優勝者。
 ②2部 (ア)大会前日において、満35歳未満の者。
 (イ)大会前日において、満35歳以上の者で2部種目への出場を希望する者。
 ③3部 (ア)初心者及び大会未経験者を対象とする(高校・高専での大会出場経験者は除く)
 (イ)年齢による制限なし。
 ④セミベテラン部
 (ア)大会前日において、満35歳以上~満50歳未満の者。
 (イ)大会前日において、満50歳以上の者でセミベテラン部の種目への出場を希望する者。
 ⑤ベテラン部
 (ア)原則として大会前日において、満50歳以上の者とする。但し、やむを得ない事情により、ダブルスのペアの組み方について以下の(イ)(ウ)の場合でも出場を可とする。なお、組合せ会議の場にて競技委員会で審査する。
 (イ)ダブルス種目において、満50歳以上の男女同士がペアが組んで出場することは可とする。
 【例】ペアの組合せ方:(男・男) (男・女) (女・女)
 (ウ)ペアを組む選手同士の合計年齢が90才以上である場合は可とする。但し、いずれか一方の選手が満50才以上の者かつもう一方の選手が40才以上の者とする。
 ※(参加申込一覧:様式-1に年齢が明記されているものとする)。

3 昇格について

- ア 2部の種目の優勝者について
 (1)満35歳未満の者は、35歳まで「1部」に昇格する。

(2)満35歳以上の者は、原則として直近の地区協会主催の大会より1年間は「1部」に昇格するものとする。

(1年間とは、年度をまたぎ、次年度の同一大会を含むまでを指す)

(3)但し、昇格対象者が地区協会主催による次大会より「年代部門」の出場を希望する場合はこの限りではない。

イ 3部の種目の優勝者について

(1)満35歳未満の者は、35歳まで「2部」に昇格する。

(2)満35歳以上の者は、原則として直後の地区協会主催の大会より1年間は「2部」に昇格するものとし、以後は「3部」の種目への出場はできないものとする。(1年間とは、年度をまたぎ、次年度の同一大会を含むまでを指す)

(3)但し、昇格対象者が地区協会主催による次大会より「年代部門」の種目に出場を希望する場合はこの限りではない。

ウ セミベテラン部及びベテラン部の優勝者については、特に昇格を設けない。

エ 昇格は「ダブルス」・「シングルス」の種目の区分に関わらず、選手個人に対するものである。従って、ダブルスにおいて、そのパートナーを替えても昇格の条件は変わらない。

4 交流戦について

①トーナメント戦の種目についてのみ行う。

②トーナメント戦において初回戦で敗退したダブルスのペアで参加を希望する者同士で行う。

③組合せは大会当日に抽選により行う。

④各ダブルスのペアにつき1試合を原則とする。但し、参加希望者が奇数などの場合はその組合せ方法は競技委員会で検討し決定する。

⑤同一のダブルスのペアが交流戦の試合と「3位・4位の順位決定戦の試合」が重複する場合には交流戦への参加はできないものとする。

【参考】各種目の優勝者には優勝楯を授与 ※昇格対象者を含む

1 前年度 同大会の結果

[2023年度(令和5年):第50回 道南バドミントン大会]

1MD 福士 和真・竹田 舜也(市田組)

1WD 松本 香織・相原 美智子(函館BLC'06)

2MD 高野 克(コモンスプレーヤーズ)・平山 智広(MCC) 1部昇格

V-D 水上 京子・石田 ゆかり(函館BLC'06)

2 今年度各大会の優勝者(含む、昇格について)

[2024年度(令和6年):第50回 函館地区春季一般バドミントン大会]

1MD 辻村 駿(コモンスプレーヤーズ)・福士 和真(市田組)

1WD 高藤 奈々華・村中 絢(北斗)

2MD 道下 大空・東 篤玖(函館大学) 1部昇格

2MS 東 篤玖(函館大学)

V-D 井上 正樹・狩野 利行(コモンスプレーヤーズ)